

# A preorder of chord diagrams, coming from spherical curve

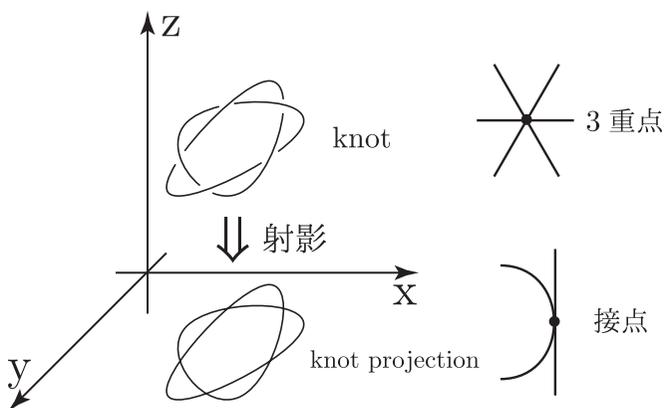
瀧村 祐介

## 概 要

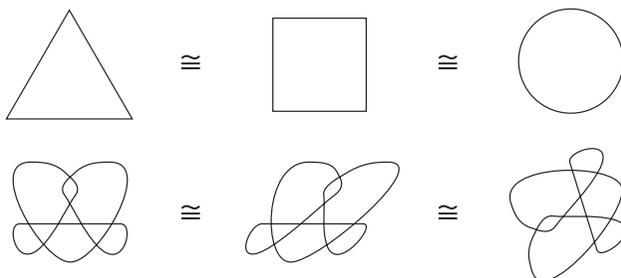
円周上に偶数個の点が配置され、2点ずつ chord で結ばれたものを chord diagram という。knot projection を、円周の球面へのはめ込みとしたときの逆像において、同一の交点となる2点をつなぐことにより、chord diagram が得られる。chord diagram における preorder を定義し、knot projection の集合の特徴付けを行った [3].

### 1. Introduction

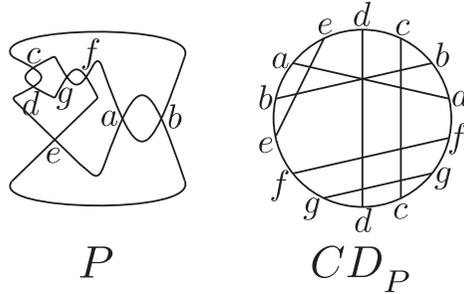
$\mathbb{R}^3$  に滑らかに埋め込まれた円周を knot という。knot を 2次元平面に射影したものを knot projection という。その際、3重点や接点がないようにする。平面に無限遠点をたすことで、knot projection を球面上で扱う。



2つの位相空間対  $(X,A)$  から  $(Y,B)$  への連続写像  $f: (X,A) \rightarrow (Y,B)$  が全単射で、その逆写像も連続であるとき、 $(X,A)$  と  $(Y,B)$  は同相であるといい、 $\cong$  で表す。ここでは同相により knot や knot projection を同一視し、鏡像は区別しないものとする。



**Definition 1.** 円周上に  $2n$  個の点を, 2 点ずつペアにして配置したものを chord diagram といい,  $CD$  と表す.  $CD$  の円周上のペアの 2 点は, chord で結ぶことにする. knot projection  $P$  の crossing の逆像を chord で結ぶことによって,  $P$  の chord diagram が得られ,  $CD_P$  と表す.  $CD$  を実現する knot projection が存在するとき,  $CD$  を実現可能と呼ぶ.



**Definition 2.**  $CD^{(A)}, CD^{(B)}$  を chord diagram とする. chord diagram  $CD_P$  が  $CD^{(A)}$  を含むような knot projection  $P$  全体からなる集合を  $PROJ(CD^{(A)})$  と表す.  $PROJ(CD^{(A)}) \supset PROJ(CD^{(B)})$  が成り立つとき,  $CD^{(B)}$  は  $CD^{(A)}$  の minor であるといい,  $CD^{(A)} \geq CD^{(B)}$  または  $CD^{(B)} \leq CD^{(A)}$  と表す.

**Proposition 1.** 任意の  $CD$  において,  $PROJ(CD) \neq \emptyset$  である.

**Proposition 2.**  $CD^{(A)}, CD^{(B)}$  を chord diagram とする.

- (1)  $CD^{(B)}$  が  $CD^{(A)}$  を含んでいれば,  $PROJ(CD^{(A)}) \supset PROJ(CD^{(B)})$  である.
- (2)  $CD^{(B)}$  が実現可能で,  $PROJ(CD^{(A)}) \supset PROJ(CD^{(B)})$  であれば,  $CD^{(B)}$  は  $CD^{(A)}$  を含んでいる.

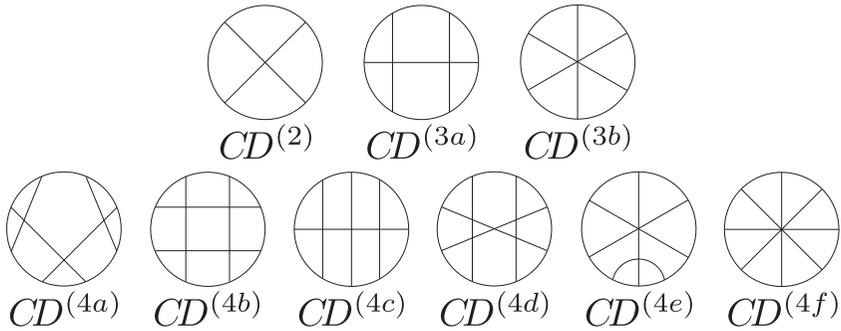
**Proposition 3.** 全ての chord diagram からなる集合を  $ACD$  と表す. 次の (1), (2) が成り立つため,  $(ACD, \leq)$  は preordered set になる.

- (1)  $CD^{(A)} \leq CD^{(A)}$  (the reflexive law)
- (2)  $CD^{(A)} \leq CD^{(B)}$  かつ  $CD^{(B)} \leq CD^{(C)}$  ならば  $CD^{(A)} \leq CD^{(C)}$  (the transitive law)

**Proposition 4.** 全ての実現可能な chord diagram からなる集合を  $ARCD$  と表す. Proposition 2 より, Proposition 3 の (1), (2) と次の (3) が成り立つため,  $(ARCD, \leq)$  は partially ordered set になる.

- (3)  $CD^{(A)} \leq CD^{(B)}$  かつ  $CD^{(B)} \leq CD^{(A)}$  ならば  $CD^{(A)} \cong CD^{(B)}$  (the antisymmetric law)

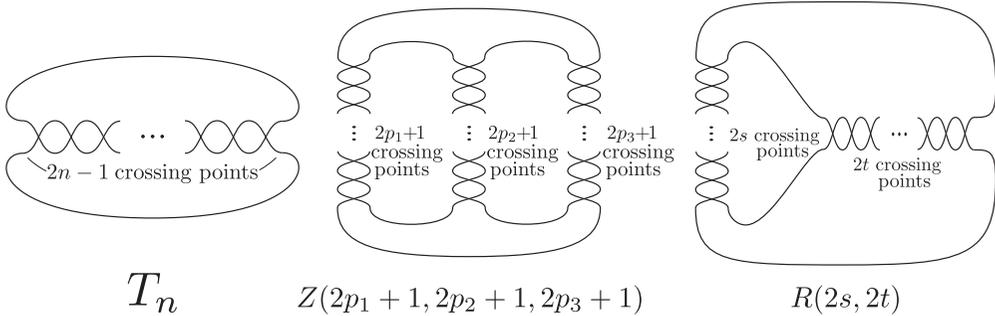
knot における preorder は [4] で定義されている.  $PROJ(CD^{(X)})(X \in \{2, 3a, 3b\})$  については, [1, 2] で研究されている. 今回,  $PROJ(CD^{(Y)})(Y \in \{4a, 4b, 4c, 4d, 4e, 4f\})$  について, 次の結果を得た.



**Theorem 1.**  $CD^{(4e)}$  は  $CD^{(4d)}$  の minor である.

**Theorem 2.**  $P$  を prime knot projection とする.

- (1)  $CD_P$  が  $CD^{(3b)}$  を含み,  $CD^{(4d)}$  を含まないなら,  $P$  は  $T_n (n \geq 2)$  である.
- (2)  $CD_P$  が  $CD^{(3b)}$  を含み,  $CD^{(4e)}$  と  $CD^{(4f)}$  を含まないなら,  $P$  は  $Z(2p_1 + 1, 2p_2 + 1, 2p_3 + 1)$  である.
- (3)  $CD_P$  が  $CD^{(3a)}$  を含み,  $CD^{(4a)}$  と  $CD^{(4d)}$  を含まないなら,  $P$  は  $R(2s, 2t)$  である.

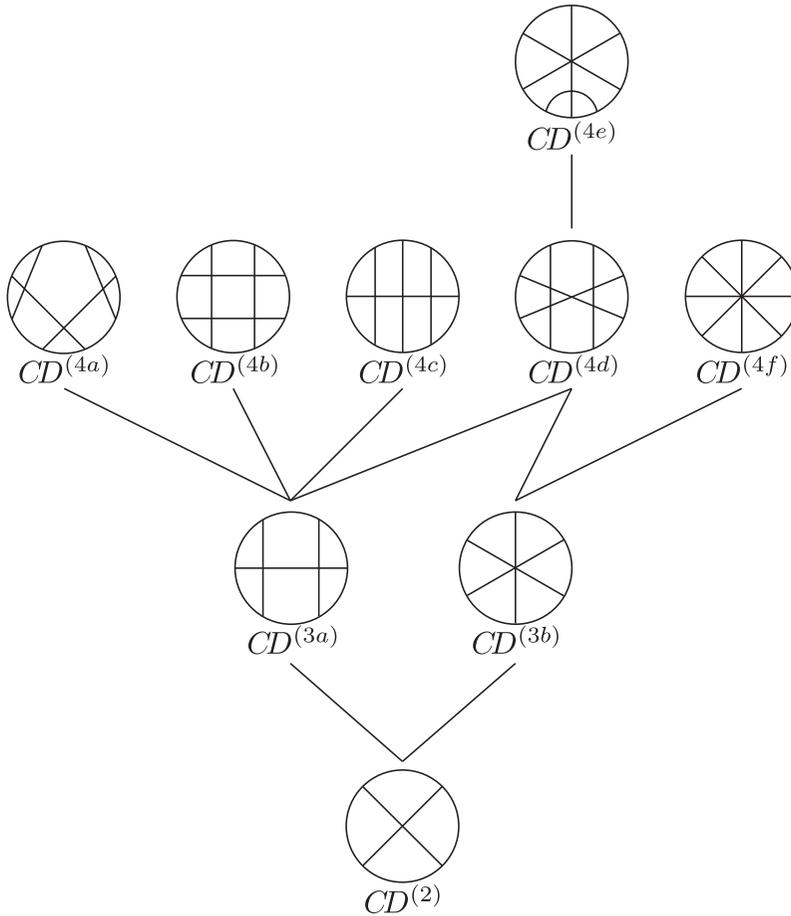


**Theorem 3.**  $CD_P$  が  $CD^{(4d)}$  を含むなら,  $CD_P$  は  $CD^{(4a)}$ ,  $CD^{(4b)}$ ,  $CD^{(4c)}$  のどれかを少なくとも 1 つ含む.

**Proposition 5.**

- (1)  $CD_P$  が  $CD^{(3a)}$  を含むなら,  $CD_P$  は  $CD^{(4b)}$  または  $CD^{(4d)}$  を含む.
- (2)  $CD_P$  が  $CD^{(4a)}$  を含むなら,  $CD_P$  は  $CD^{(4c)}$  または  $CD^{(4d)}$  を含む.

Proposition 2 (1) と Theorem 1 より, 図のような Hasse diagram が得られる. 線の上側の chord diagram は, 線の下側の chord diagram の minor であることを表している.



$\mathcal{T} = \{T_n \mid n : \text{positive integer}\}$ ,  $\mathcal{Z} = \{Z(2p_1 + 1, 2p_2 + 1, 2p_3 + 1) \mid p_1, p_2, p_3 : \text{non-negative integers}\}$ ,  $\mathcal{R} = \{R(2s, 2t) \mid s, t : \text{positive integers}\}$  とする. chord diagram  $CD_p$  が  $CD^{(4)}$  を含むような prime knot projection  $P$  全体からなる集合を  $\mathcal{P}\text{-PROJ}(CD^{(4)})$  と表す. 以上より, 図のような Venn diagram が得られる.  $\emptyset$  は空集合である.

#### 参考文献

- [1] N. Ito and Y. Takimura, A characterization of knot projections by triple chords, preprint.
- [2] M. Sakamoto and K. Taniyama, Plane curves in an immersed graph in  $\mathbb{R}^2$ , *J. Knot Theory Ramifications* **22** (2013), 1350003, 10pp.
- [3] Y. Takimura, A preorder of chord diagrams, coming from spherical curve, *Kobe J. Math.* **36** (2019), 21–24.
- [4] K. Taniyama, A partial order of knots, *Tokyo J. Math.* **12** (1989), 205–229.

